



第17回キッズデザイン賞

最優秀賞「内閣総理大臣賞」など各賞を発表！

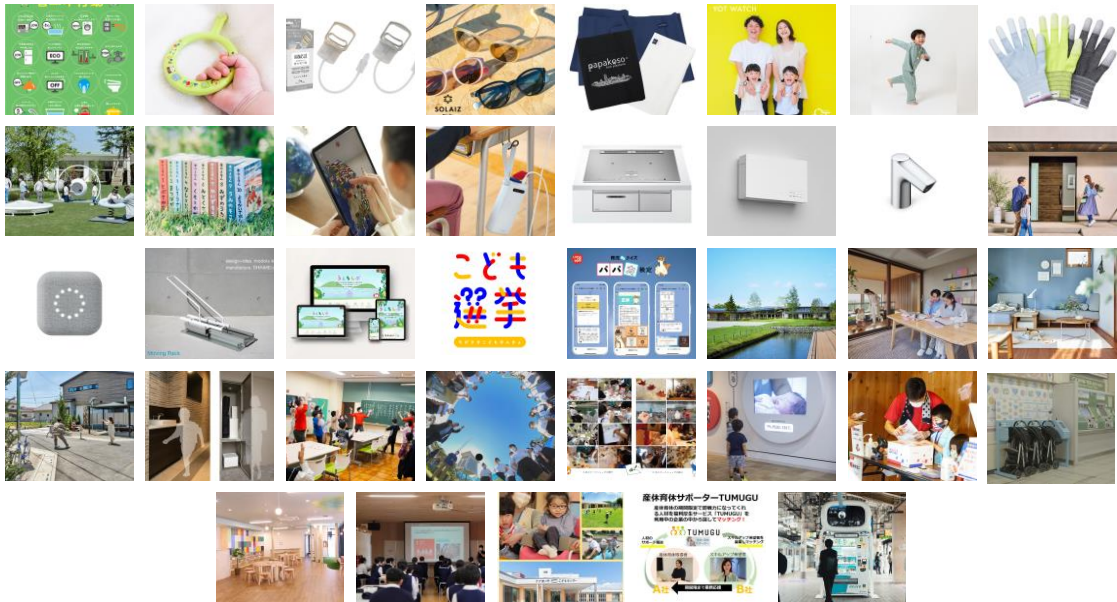
キッズデザイン協議会※1は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・サービス・空間・活動・研究などを顕彰する「キッズデザイン賞」の第17回受賞作品258点※2の中から、優秀作品へノミネートされた最優秀賞、優秀賞、奨励賞、特別賞を発表しました。

優秀作品に選ばれた37点は、「子どもたちの自主性を真ん中に据えた『子どもが主役』となる提案」「子どもの国籍、障がいの有無に捉われない多様性の尊重」などの観点で優れた作品となっております。

これらの作品を通じて、受賞を機に子どもの未来が持続的で明るいものになるよう、広く社会に広がることを期待しております。

※1 キッズデザイン協議会 東京都港区 会長：坂井 和則（凸版印刷株式会社 代表取締役 副社長執行役員）

※2 17回累計での応募数 6,566点、受賞数 3,911点となりました。



◆第17回キッズデザイン賞 表彰式・シンポジウム 開催

- 日時：2023年9月27日（水）
- 表彰式 10：00-12：00
- シンポジウム 13：30-15：00
- 開催方法：Zoomウェビナー（無料）
- 申込方法：下記よりお申込みください

【表彰式】

【シンポジウム】



どなたでもご視聴いただけますので、ぜひお申込みください

（事前登録制 9月27日（水）10:00締切）

～シンポジウム「キッズデザイン 開発ストーリー2023」プログラム～

最優秀賞・優秀賞受賞9団体による
プレゼンテーション

審査委員による
受賞ポイントのコメント

登壇者

- 第1部 13:30 【最優秀賞】
「こども選挙」 …… こども選挙実行委員会
- 第2部 13:50 【優秀賞】 ～子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン～
「i do button」 …… 株式会社Discovery Kids
「エキマトベ」 …… 富士通株式会社
- 第3部 14:07 【優秀賞】 ～子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン～
「パッパタウン第4街区 たんぽぽ保育園」 …… 株式会社田口知子建築設計事務所
「未来の山口の授業 at School」 …… 山口情報芸術センター[YCAM]
「みらいをつくる Miracle Labo」 …… 株式会社パノナフオスター
- 第4部 14:29 【優秀賞】 ～子どもたちを産み育てやすいデザイン～
「音の自由区」 …… 大和ハウス工業株式会社
「一つ屋根の下で一緒に過ごす！」フジ虎ノ門こどもセンター …… 社会福祉法人青虎会
「濱帯（はまおび）」 …… 株式会社フンスレッド

総括 14:50

※お時間は、多少前後する可能性がありますことご了承ください。

第17回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

最優秀賞（内閣総理大臣賞）



『こども選挙』

こども選挙実行委員会

【神奈川県】

2022年に成立した「こども基本法」には、「全てのこどもが意見を表明し社会活動に参加する機会が確保されること」が明記された。子どもを社会的弱者と捉えるのではなく、これからの社会をつくり、担う主役として位置づけることはとても重要である。また、今後のキッズデザインのあり方を示すものであり、最優秀賞にふさわしい作品と評価した。

優秀賞（経済産業大臣賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『i do button』

株式会社Discovery Kids

【東京都】

子どもがパジャマや洋服を着るときのボタンを留める作業はなかなか困難であり、嫌がってやめてしまうこともある。そこに達成感を与えたいという思いから生まれた作品で、型にはまったボタンの形状をリデザインすることで圧倒的に使いやすくなった。うつ伏せ寝や寝返りを考慮した生地の厚さなど細部にわたって、事故を防ぐ安全配慮が見てとれる。

一般部門



『エキマトペ』

富士通株式会社

【東京都】

聾学校との連携により、耳の間聞こえない・聞こえにくい学生と一緒に安全で楽しい通学を実現しようという思いから生まれた作品。スーパーコンピューターとAIを活用した最新テクノロジーを駆使して開発されており、聴覚障がいの子もばかりでなく、あらゆる子どもの注意をひく仕組みとなりうる。駅の一般利用者にも、非常に有効な提案である。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『バスシブタウン第4街区 たんぼぼ保育園』

YKK不動産株式会社 / 株式会社田口知子建築設計事務所 / 株式会社竹中工務店

【富山県】

開放的でのびやかに過ごせる保育園であり、造形的なデザインとしても高く評価をした。四季を感じることは子どもが感性を磨くうえでとても大切であり、地元産の杉材をふんだんに使った空間も快適な保育時間を生み出してくれるだろう。高断熱と創エネルギーによるZEBの達成も時宜に合っている。

リテラシー部門



『未来の山口の授業 at School』

山口情報芸術センター [YCAM] / 山口市教育委員会

【山口県】

様々なテクノロジーとアート、身体性と知性の学びといった組合せを巧みに取り入れた先進的な教育プログラムを地域に根付かせる活動は、リテラシー部門にふさわしく優秀賞とした。360度で地域を俯瞰するウェブ図鑑や、未来の運動会をテーマにしたデジタル技術を使った新しいスポーツのアイデアと実施など、新たな時代の学びを具体化している。

第17回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

優秀賞（消費者担当大臣賞）

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『みらいをつくる Miracle Labo』

株式会社パソナフォスター

【東京都】

店舗を開発し、いかに集客するか、どのような商品を開発するか、どのような広報をするか、生産と販売、消費の関係性を実体験を通じて学ぶ点が消費者育成の視点から重要と考える。学校教育だけではカバーしきれない、社会教育・消費者教育につながる点を特に評価し、優秀賞に選出した。

優秀賞（こども政策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『音の自由区』

大和ハウス工業株式会社

【大阪府】

音をテーマとした量産型住宅の新規性ある提案である。在宅ワークやリモートの普及から、親が家の中で仕事をするシーンと子どもたちが遊んだり宿題をしたりするシーンがクロスすることが多くなった。技術的なアプローチにより、室内を図書館並みの静けさに保つことができ、同時に子どもの動きは見えるという点で本部門の主旨にふさわしいと評価した。

優秀賞（こども政策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『「一つ屋根の下で一緒に過ごす！」フジ虎ノ門子どもセンター』

社会医療法人 青虎会 / 積水ハウス株式会社

【静岡県】

未就学から高校生まで、多様な立場の多世代交流を促す空間とプログラムが相互の学びの場になる。インクルーシブデザインが意味する、多様な存在を認め合い、交流と気づきを得るという考え方はキッズデザインでも非常に重要な視点であり、本賞にふさわしい内容である。

優秀賞（男女共同参画担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『濱帯（はまおび）』

株式会社ワンスレッド

【神奈川県】

シルクスカーフの産地であった横浜の地場産業の技術を活用した、風呂敷のように融通無碍なジャパンデザイン。地域の団体と連携をしながらパパ抱っこ教室や、濱帯の体験会を実施しており、男性の積極的な子育て参加のためのコミュニケーション・ツールになっている。男女共同参画というテーマにふさわしいとして優秀賞として選出した。

第17回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『SOLAIZ Kid's』
株式会社エリカオブチカル
【福井県】

日本ではあまり子どもがサングラスを着用する習慣がないが、欧米ではごく普通にみられる光景だ。サングラスを子ども用のアイケアグッズと位置付けて開発しており、外遊びの際の転倒時の安全性や活発な動きにも対応する耳へのフィット感など、子どもに特化した機能をもつ。

子ども部門



『タングステン耐切削手袋』
パナソニック ライティングデバイス株式会社
【大阪府】

昨今、刃物を使う教育の機会が減少している。物づくりに必要な道具として、カッターや彫刻刀は学校現場でも欠かせない存在である。自由な創造力を発揮できるよう、安全を担保しながら扱いやすく、子どもの手の発汗にも配慮がある、事故防止に寄与する製品である。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

一般部門



『乾電池式オートマージ台付タイプ』
株式会社LIXIL
【東京都】

手洗いの際に手をかざすだけでセンサーが反応し、自動で水が出る機能を、後付けで追加できるという新しい発想のプロダクトである。非接触がキーワードになったコロナ禍の期間、保育や子育ての現場でもさまざまな工夫が行われ、その成果のひとつだろう。締め忘れ防止という効果もあわせもつ。

一般部門



『共有地で「共助」を育み、暮らしの中で「自助」を学ぶ家』
ボラストウン開発株式会社
【埼玉県】

分譲住宅地内に防災という視点を明確に持ち、共有地ではかまどベンチのような防災インフラを、住宅内にはポータブル電源、水タンクなど備えている。普段から使い方に慣れ有事の際に落ち着いて実践できる、防災リテラシーを高める仕掛けが盛り込まれている点を評価した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

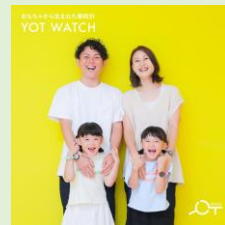
クリエイティブ部門



『創作ダンスで校歌を残すプロジェクト』
んまつーポス / 対馬博物館 / 宮崎大学発ベンチャー企業
一般社団法人namstrops
【宮崎県】

少子化等により閉校する学校で校歌が二度と歌われなくなるといった話も聞かれる。校歌は学び舎だけでなく地域の様々な記憶を留めるうえでも大切なものである。歌うだけでなく、創作ダンスを組合せて、共作、共有するというクリエイティブな取組として評価した。

クリエイティブ部門



『おもちゃから生まれた腕時計「YOT WATCH（ヨットウォッチ）」』
株式会社三栄コーポレーション
【東京都】

遊ばなくなったプラスチック玩具を集め、リサイクルしてファーストウォッチに生まれ変わらせるプロジェクトだが、大人が使っても違和感のない上質なデザインがよい。時間軸を読み込んだリサイクルの好例である。プロセスを伝える小冊子もついている点も配慮がある。

第17回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

リテラシー部門



『まちいろクレヨン探検隊』

一般社団法人アーバンデザインセンター宇治 / 宇治市政策企画部政策戦略課 / 慶應義塾大学SFC石川初研究室

【京都府】

地域の景観や四季、歴史などを色に置き換えてそれを再現したクレヨンを制作するワークショップ。街歩きをしながら子どもたちが感じた色を持ち帰り、色を調合しながら実物化するという、五感と創造力、表現力を育む総合的なアプローチである点を高く評価した。

リテラシー部門



『ユニセフハウス』

公益財団法人日本ユニセフ協会

【東京都】

子どもの権利条約やSDGsを総合的に学ぶ場はまだ少ない。海外の子どもたちがどのような環境でどのような暮らしをしているかを学び、未来の主役である子ども自身が課題意識を持ち、どういった社会をつかっていくべきかを考えるきっかけを与えてくれる。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『脱炭素型ライフスタイル推進 省エネナッジ教育』

東京ガス株式会社 / 株式会社住環境計画研究所

【東京都】

省エネルギー教育は学校現場でも重視されるプログラムのひとつであるが、それが家庭での行動にも影響することを示しており、結果としてCO2排出量が減ることが明らかになった点で社会提案性が高い。4年間で1万名の子どもが受講しており、リサーチとしても信頼性がある。

消費者育成部門



『子ども向け郵便局の職業体験イベント「みんなの郵便局」』

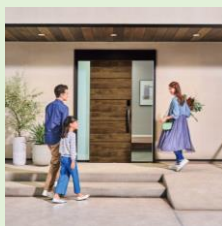
日本郵便株式会社

【東京都】

郵便局の窓口業務、内勤業務や配達など、地域の子どもの職業体験を提供するプログラムであり、郵便局職員が講師になって参加するという点で、地域に根差した仕事の重要性や親近感に気づける。消防や警察と連携した防犯や見守り学習もあり、幅広い普及効果が期待できる。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『M30 顔認証自動ドア』

YKK AP株式会社

【東京都】

荷物を持って両手がふさがっている、寝てしまった子どもを抱っこしている、ベビーカーを押している時など子育て中にありがちなシーンをサポートする提案である。玄関前で、ストレスを感じる場面でも顔認証で自動的に開錠される利便性がよい。

個人・家庭部門



『～子育て世代へ LIFE IDEASを盛り込んだ住まい提案～ 積水ハウスノイエ』

積水ハウス ノイエ株式会社 / 積水ハウス株式会社

【大阪府】

収納・家事・食事・育児の4つのテーマについてリサーチ、アンケートを実施し、データに基づいたプランをパッケージ化した子育て支援住宅の提案である。それぞれの間取りや設備、空間のアイデアは子育て層の悩みやニーズを丹念に拾い、解決策を提示したもので現実的だ。

第17回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『ベビカル』

JREベビーカーシェアリング有限責任事業組合（東日本旅客鉄道株式会社/株式会社ジェイアール東日本企画）
【東京都】

電車内持ち込みをせずに、駅でベビーカーを借りて出先での移動をこなし、拠点に戻してまた電車で帰る、といった使い方は現実的かつ合理的であろう。全国展開しており、すでに130か所の拠点がある点も素晴らしい。子連れ移動の可能性を広げるための良質な取組である。

地域・社会部門



『「ALL FOR THE NEXT」次世代へ紡ぐ小国町の新しいまちづくり』

法政大学デザイン工学部川久保俊研究室 / 熊本県小国町

【東京都】

地域の総合計画を子どもたち自身の手で作るというプロジェクト。多くの自治体が直面している問題と同様、過疎化が進行する地域で次代を担う子どもたちがこの街をどうしていくかを考える重要なアプローチだ。子ども参加型の街作りの今後のモデルとなりえる良例である。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『産休育休サポーターTUMUGU』

株式会社QOOLキャリア

【東京都】

育休、産休により、人材が一定期間不在となった際にサポート人材を紹介するサービス。例えば中小企業では一人でも抜けるとその影響は大きく、育休が取りにくい状況がある。このサービスを利用すれば、育休を取る側、派遣される側、双方にメリットがあり社会的ニーズは高いだろう。

男女共同参画部門



『育児クイズババカ検定』

株式会社Mama's Sachi

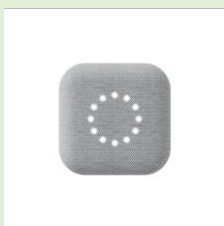
【東京都】

育児パパへの子育て情報サイトは昨今増えているが、本作品は人気アプリを使ったクイズ形式でトータル250問という量も魅力的だ。親になったら何を学ぶか、どうしておくべきか、など必要と思っただけでも時間がとりにくい場合でも無理なく続けられる点が良い。

第17回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

特別賞（審査委員長特別賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



『BoTトーク』

ピーサイズ株式会社
【神奈川県】

GPSを用いた子どもの居場所の検知ができるサービスで音声メッセージが送れる点、AIによる居場所予測機能などIoTの機能が盛り込まれている点に新規性がある。子どもの迷子、行方不明は大きな社会的問題の一つであり、相互見守りとともにハード側の整備も重要である。



『【日本製】手動ポンプ式鼻水吸引器 HANASUI』

HANASUI株式会社
【京都府】

手動式にフォーカスした子育て層にやさしい機器である。子どもを抱えながらの吸引は、指に負担がかかったり、ノズルの向きを気にしたりといった課題があった。形状の工夫でこうした点を改善して使い勝手を向上させ、衛生面での配慮もなされている点から、本賞に選出した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



『RESILIENCE PLAYGROUND』

株式会社ジャクエツ / 一般社団法人Orange Kids'Care Lab.
【福井県】

重度の障がいを抱えた子どもたちと、健常の子どもたちが一緒に遊べる遊具であり、新しい遊びの環境を育む良質なアプローチである。強い刺激が不得手な子どもでも楽しめるよう、開発においてシミュレーションを実施しており、インクルーシブデザイン遊具の領域を拓いた。



『木のえほん』

株式会社ヒョウデザイン
【鳥取県】

地元の杉の木で創られた絵本であり、物語も地元在住の作家に依頼するなど、地域性にこだわった作品。木の触感や香り、切り抜き加工による立体的な造形を五感で楽しめる新しい試みが魅力である。素材や物語、技から地域のことを知り、愛着を育む良質な取組である。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



『入庫も出庫もラクラク。普段通りに使える駐輪ラック

【Moving Rack】

有限会社モドルキカク / 株式会社伸明
【大阪府】

子どもを乗せて走れる電動アシスト自転車の人気が、車体重量は重くなりがちで、駐輪時に大変な思いをしている人も少なくない。独自のスライド式ラックに前輪を寄せ、引き戻すようにスタンドを立てることで、従来よりも労力を大幅に軽減できるという新しい発想がよい。



『障がいや病気の兄弟姉妹がいる子どものきょうだい向けの情報サイト

「うえるしぶ」

任意団体うえるしぶ

【東京都】

障がいや病気を抱える子どもだけではなく、その「きょうだい」へ向けたコンテンツであり、これまで個々の取組であったものを体系化したことは重要である。家族や友達に悩みが言えないなど、こうした環境にある子どもたちの心理的な負担を払拭する社会提案性の高い作品である。

特別賞（東京都知事賞）



『POSYリング歯ブラシ』

ファイン株式会社

【東京都】

自分で歯を磨く習慣を身につけるために、口の中に歯ブラシを入れる練習は乳幼児期から始めるとよい。一方で、子どもが歯ブラシをくわえたまま飛び跳ねて喉を突く事故も発生している。本作品は発売後27年というロングセラーであり、子どもの事故予防、安全性に、いち早く問題意識を持ち、実績を重ねた点は他の事業者にも期待されるべきである。

特別賞（TEPIA特別賞）



『ほぼ日のアースボール』

株式会社ほぼ日

【東京都】

かつての地球儀のイメージを拡張し、AR技術と融合させることによって、無限のコンテンツの広がりを感じさせる作品である。サイエンスやグローバルリテラシーを学ぶ新しい学びのアイテムとしても、地球環境保全や未来社会の発展に役立つ先端技術という点で本賞にふさわしいものと評価した。

特別賞（BEYOND COVID-19特別賞）



『子どもたちに安心・安全な空気を提供する「ヘルスエアー機能付き大風量循環ファン』

三菱電機株式会社

【東京都】

空気環境の衛生対策は重要であるが、床置き型は子どもが多く集う場所では安全面で課題が残っていた。壁掛け型とすることでこれらの問題を解消し、フィルターも水洗浄可能で取り換え不要を実現した。空気環境改善と扱いやすさの両立という点で本賞にふさわしいと評価した。



『学校向けリン酸鉄モバイルバッテリー』

エレコム株式会社

【大阪府】

コロナ禍以降、遠隔学習やネットを利用した体験など、学びの環境も変化した。その分、タブレット等を使う頻度も上がり、電子機器の充電は課題でもある。開けやすい蓋の形状や視認性の高さ、長時間使用可能な容量など、教育現場のニーズに応える良質な作品として評価した。



『IHクッキングヒーターNシリーズ』

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

【東京都】

コロナ禍を経て、家庭での親子コミュニケーションで一緒に調理をする例が増えた。その分、幼いきょうだいがいる家庭では興味を持って調理を覗くなどの状況も考えられ、グリルでのやけど事故への対策も必要になる。安全な環境で子どもとの調理時間を充実させる点を評価した。



『分譲マンションにおける子育て支援サービスの提案』

積水ハウス株式会社

【大阪府】

大規模分譲マンションでありながら共用部に手洗い場や宅配ボックスなどを備え、インフラに新たな提案を行った。コロナ禍を経て日常の衛生に関するリテラシーも変化した。分譲マンションも個別住戸の集合体からコミュニティとしての機能が必要である。

「第17回キッズデザイン賞」実施概要

- 【主催】** 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
- 【後援】** 経済産業省、内閣府、消費者庁、こども家庭庁
- 【概要】** キッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・サービス・空間・活動・研究を対象とする顕彰制度です。
 キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に、そして安心して暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から、子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に創設されました。子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象となります。
 キッズデザイン賞を受賞した作品には「キッズデザインマーク」をつけることが認められ、販売促進活動や広報活動などで、その成果を広く社会にアピールすることができます。
 ※キッズデザイン賞での「子ども」の対象は、0～15歳までを指します。
- 【募集期間】** 2023年3月1日(水)～5月15日(月)12時
- 【応募方法】** キッズデザイン賞Webサイト<<https://kidsdesignaward.jp/>>より受付
- 【受賞数】** 受賞数 258点（応募数：398点）
 応募者は、キッズデザインの3つのデザインミッションから設けられた以下より応募部門を選択。
- 【部門】** **《子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン》・・・53点**
 子どもの安全・安心に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。子ども向け、あるいは一般向けの製品、サービス、建築・空間、活動、研究において、安心・安全に配慮されたもの。
- 《子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン》・・・126点**
 子どもの創造性や感性に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。子どもの創造性・感性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に役立つもの。また、そこに新たな発想、工夫、手法があるもの。
- 《子どもたちを産み育てやすいデザイン》・・・79点**
 子どもや子育てに関わる人々に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。
 妊娠・出産・子育てに関わる人が利用する製品、サービス、建築・空間、活動、研究において、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものも含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。

■ 賞の構成

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン		子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン			子どもたちを産み育てやすいデザイン		
子ども部門	一般部門	クリエイティブ部門	リテラシー部門	消費者育成部門	個人・家庭部門	地域・社会部門	男女共同参画部門
内閣総理大臣賞							
経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	消費者担当大臣賞	こども政策担当大臣賞	こども政策担当大臣賞	男女共同参画担当大臣賞
キッズデザイン協議会会長賞		キッズデザイン協議会会長賞			キッズデザイン協議会会長賞		
審査委員長特別賞 東京都知事賞		審査委員長特別賞			審査委員長特別賞		
TEPIA特別賞							
BEYOND COVID-19特別賞							
キッズデザイン賞(審査通過作品)							

■「第17回キッズデザイン賞」審査委員（所属・役職は2023年6月2日現在）

審査委員長	益田 文和（インダストリアルデザイナー／オープンハウス 代表取締役）
副審査委員長	赤池 学（科学技術ジャーナリスト／ユニバーサルデザイン総合研究所 所長） 持丸 正明（産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長） 山中 龍宏（小児科医／緑園こどもクリニック 院長）
審査委員 【50音順】	赤松 幹之（産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター 主席研究員） 五十嵐 久枝（インテリアデザイナー／イガラシデザインスタジオ代表／武蔵野美術大学 教授） 大月 ヒロ子（ミュージアム・エデュケーション・プランナー／アイデア 代表） 岡崎 章（拓殖大学 工学部 情報・デザイン工学専攻 デザイン工学コース 主任） 定行 まり子（日本女子大学 教授） 竹内 昌義（建築家／東北芸術工科大学 教授／「みかんぐみ」代表） 竹村 真一（文化人類学者／京都芸術大学 教授／Earth Literacy Program 代表） 中村 俊介（芸術工学博士／しくみデザイン 代表取締役） 西田 佳史（東京工業大学 工学院 機械系 教授） 橋田 規子（プロダクトデザイナー／芝浦工業大学 教授） 深田 昭三（愛媛大学 名誉教授） 宮城 俊作（ランドスケープアーキテクト／設計組織 PLACEMEDIA・パートナー） 森本 千絵（コミュニケーションディレクター／アートディレクター） 山中 敏正（筑波大学 特命教授 数学マネジメント室長） 渡 和由（UR都市機構 東日本都市再生本部 事業企画部 参与） 審査委員紹介URL： https://kidsdesignaward.jp/examination/member.html

■キッズデザイン協議会とは

キッズデザイン協議会は、次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発達につながる社会環境の創出のために、さまざまな企業・団体が業種を超えて集い合うNPO法人です。キッズデザインの理念を広く普及・啓発し、子ども目線での製品・コンテンツ開発が拡大していくことを目的としています。

会員数101： 企業57 自治体26 その他、団体など17（2023年9月20日現在）

【報道関係者からのお問合せ先】

「第17回キッズデザイン賞」広報事務局（カーツメディアワークス内） 永戸・大越

TEL：03-6427-1627 FAX：03-6730-9713 MAIL：contact@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第17回キッズデザイン賞」事務局

TEL：03-5405-2142（平日10:00-17:00）MAIL：2023kids@kidsdesign.jp

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 TEL：03-5405-2141 FAX：03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 <https://kidsdesign.jp/>

第17回キッズデザイン賞 表彰式・シンポジウム参加申込み用紙

『第17回キッズデザイン賞』 広報事務局 行

※誠にお手数ではございますが、取材のご意向をご記入の上、**9月26日(火)17時**までに、必要事項をご記入のうえ、メールかFAXの返信、フォームへの入力にてお申し込みください。



▲申込フォーム

FAX : 03-6730-9713 メール: contact@kartz.co.jp

フォームURL : <https://forms.gle/jRoSP6shsUruTfUbA>

■日 時 : 2023年9月27日 (水) 10:00~15:00

■ご取材予定のプログラムにチェックをお願い致します。

オンライン

ご来場

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>

『第17回キッズデザイン賞』 表彰式

10:00~12:00 (終了後、会場では受賞作品撮影ができます) ※09:45~ 報道受付

『第17回キッズデザイン賞』 シンポジウム

13:30~15:00 ※オンラインのみ

<オンラインについてのご案内>

※ オンラインでご参加される方には、別途9月26日(火)中に配信URLをお送りしますので、下記申込フォームに「メールアドレス」を必ずご記入いただきますようお願い申し上げます。

※ 表彰式終了後、オンライン配信動画やオフィシャル画像をメールにてお送りさせていただきます。

<ご来場についてのご案内>

会 場 : 六本木ヒルズ内49階「アカデミーヒルズ49」
(タワーホール)

アクセス : 日比谷線/六本木駅・徒歩3分 (コンコースにて直結)
大江戸線/六本木駅・徒歩6分

※開始15分前より報道受付~開場させていただきます。

※座席とカメラ位置は受付先着順となります。予めご了承ください。

■ 貴媒体名・貴番組名	
■ 貴社名 / 貴部署名	/
■ 取材代表者名(人数)	
■ 取材人数内訳	<input type="checkbox"/> ペン (名) <input type="checkbox"/> フォト (名) <input type="checkbox"/> ENG (名)
■ Tel / Fax	/
■ 代表者 メールアドレス	
■ 備考欄	

※ご記入いただきましたご連絡先等は、本イベントの名簿管理のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

【報道関係者からのお問合せ先】

「第17回キッズデザイン賞」広報事務局 (カーツメディアワークス内)

永戸 (070-1288-6436) ・大越 (070-1288-6423)

TEL : 03-6427-1627 FAX : 03-6730-9713 MAIL : contact@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第17回キッズデザイン賞」事務局 TEL : 03-5405-2142 (平日10:00-17:00) MAIL : 2023kids@kidsdesign.jp

主催 : 特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 TEL : 03-5405-2141 FAX : 03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 <https://kidsdesign.jp/>